

| | | | | | | | | |
|---------|-------------------|---|--------|--------|-----|--------------------------|------|--------------------------------|
| 団体名 | | 一般財団法人 武蔵野市開発公社 | | | | | | |
| ① 事業 | 指標名 | まちづくり事業の拡充 | | | 目標値 | まちづくり事業における新たな事業展開と拡充 | 実績値 | 吉祥寺ポリシーに基づく、まちの活性化に資する事業の研究と実践 |
| | 過去の実績 (単位:) | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | 達成率 | 100.0% | 達成状況 | 達成 |
| | 取組内容 | ※R元年度中の目標達成のための具体的な取組内容等について記入してください。 ①直近3年間の吉祥寺ポリシーの取組みを踏まえ、都市のスキマを活用したシェアリングビジネス「吉祥寺ポップアップストアポータル」を展開し、賑わい創出など吉祥寺のまちの活性化に繋がる事業研究を行った。 ②今後のまちの賑わいづくりの施策を企画立案するヒントとなる基礎的な調査・研究に取り組んだ。 | | | | | | |
| | 一次評価 | ※目標の達成状況・要因・今後の取組方針等について記入してください。 ①吉祥寺ポリシーを策定する経過で得た様々な知見や人脈を活用して、新規の取り組みである吉祥寺ポップアップストアポータルの事業展開を行った。 ②将来のまちづくりのヒントやネタを見出すため、従来とは違う視点に立ち、来街者の意識調査やSNSでのキーワードの調査を実施した。 | | | | | | |
| | 二次評価 | シェアリングビジネス「吉祥寺ポップアップストアポータル」を展開し、都市における新たなビジネスの可能性を広げたことを評価する。本年度実施した調査結果を基礎とし、来街者の意識の変化に注目しながら、引き続きまちの活性化に努めていただきたい。 | | | | | | |
| ② 財務 | 指標名 | 財務基盤の強化 | | | 目標値 | 1,464,949千円 | 実績値 | 1,498,321千円 |
| | 過去の実績 (単位: 千円) | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | 達成率 | 102.3% | 達成状況 | 達成 |
| | 取組内容 | ※R元年度中の目標達成のための具体的な取組内容等について記入してください。 ①事業収入の根幹をなすFFビルの運営のため、商業施設としての魅力維持やビルの老朽化に対して必要な設備投資を計画的に実施し、持続可能なビル経営を実施した。 ②将来の大規模なリノベーション又は建て替えに向け、事業スキームや事業採算性の検討に着手した。 | | | | | | |
| | 一次評価 | ※目標の達成状況・要因・今後の取組方針等について記入してください。 ①事業収入の大部分を占める不動産賃貸料収入において、収益の見直しや利用率の増加により目標を達成した。 ②所有ビルの建物や設備の更新、改修に対応するための資金繰り、資金計画の作成・検討などを行った。 | | | | | | |
| | 二次評価 | 所有ビルについては、今後設備の更新や改修の必要性が高まることが予測されるため、将来を見据えた資金計画の作成、検討を行ったことは評価できる。 今後新型コロナウイルスの感染拡大による店舗型の事業実施の困難性の高まりから、空室の増加や利用率の低下が懸念されるため、ビルの魅力向上の取組みや、利用者ニーズを踏まえた柔軟な不動産経営に努めていただきたい。 | | | | | | |
| ③ 内部 | 指標名 | 組織体制及び人材育成 | | | 目標値 | 長期経営計画に基づく組織体制の確立及び人材の育成 | 実績値 | 持続可能な組織体制の確立及びその人材育成 |
| | 過去の実績 (単位:) | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | 達成率 | 100.0% | 達成状況 | 達成 |
| | 取組内容 | ※R元年度中の目標達成のための具体的な取組内容等について記入してください。 ①様々な事業を通じ、既存職員と外部人材との人員交流、視察などを実施し、職員の能力向上を図った。 ②令和2年度の採用に向け、採用計画の再構築とそれに合わせた規程等の再整備を実施した。 | | | | | | |
| | 一次評価 | ※目標の達成状況・要因・今後の取組方針等について記入してください。 ①OJTによるビル経営の知識・能力や一般法人法の下での法人運営のノウハウなど、既存職員の能力は着実に向上しており、引き続き能力向上に努めるものとする。 ②職員の退職予定を見据えた新規の職員採用について、令和2年度からの採用に向けた取組みを実施した。 | | | | | | |
| | 二次評価 | 財団法人として持続的に運営を図るため、採用計画の再構築及び規程等の整備を行ったことは評価できる。既存職員及び令和2年度以降採用する職員を含め、今後求められる能力を精査し、計画的な人材育成を行えるよう努めていただきたい。 | | | | | | |